

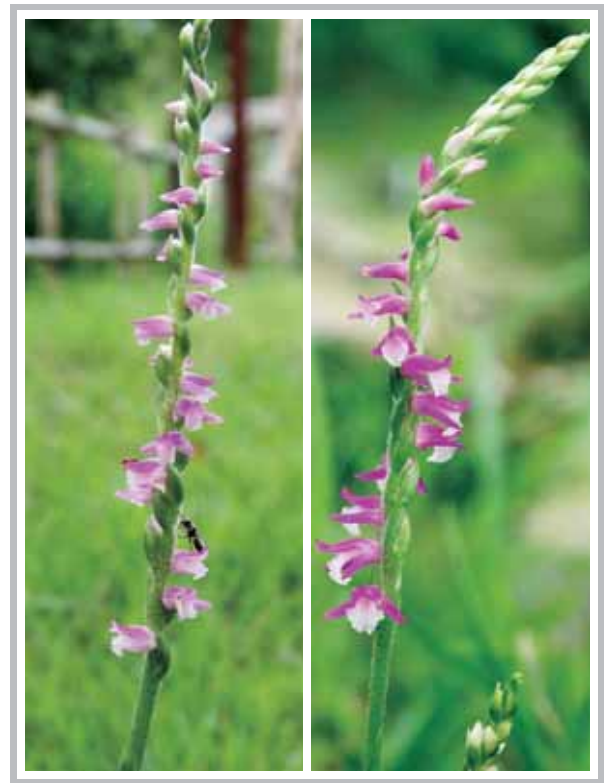
ネジバナはなぜねじる？

ネジバナは、10～30cmぐらいの草丈で、5～8mm程度の小さな花を20個以上咲かせます。そのかわいらしい花が、らせん階段を登るようにねじりながら下の方から咲き上がっていきます。ねじれて咲くから「ネジバナ」という名前が付きました。日当たりが良く、やや湿り気もある開けた野原や芝生の中に生育するランの仲間です。

ところで、右の写真と左の写真をよ～く見比べてみてください。気付きましたか？そうです、ねじる方向、つまり巻き方が逆になっていますね。左のネジバナは、真上から見ると“反時計回り”、右のネジバナは“時計回り”になっています。アサガオなどのつるは、ねじる方向が決まっている場合がほとんどですが、ネジバナはこだわりが全く無いようで“時計回り”と“反時計回り”のものが隣同士で咲いていることもありますし、中には、途中からねじる方向が逆転する個体もあるそうです。ちなみに左右の割合は、だいたい1：1だそうです。

さて、本題が最後になりましたが、ネジバナは一体なぜねじるのでしょうか？一説によると、花が全部一方向に咲けば茎が傾くので、花の方が工夫してわざとねじって花を付けるようになったそうです。

陶史の森にお越しの際には、ぜひネジバナの「ねじり具合」を見比べてみてください。



森	の
日	記

陶史の森 写生会 5月3日(土)・4日(日)

柔らかな日差しの下、年少さんから小学校6年生までのちびっ子画伯たちが、陶史の森の動物や景色を写生しました。



春の遠足

5月9日(金)



駄知幼稚園の元気いっぱいな子どもたちが遠足でやって来ました。舟形アスレチックで楽しんだり、ヒツジの親子に声を掛けたりするなど、陶史の森ならではの“お楽しみ”を満喫していました。

自然の中で子育てを

5月26日(月)

おなじみの子育てママ友グループの皆さんが芝生広場でランチタイム。主役は、ど真ん中で「大の字」に寝ている赤ちゃんのようですね。



教室のご案内

7月

草花標本づくり教室 (自由参加)

7月6日(日) 午前9時～11時30分

植物を採集・観察して標本を作ります。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

7月27日(日) 午前9時～11時30分

夏の野鳥を観察します。

8月

夏の天体教室 (要申込・定員20人)

8月2日(土) 午後7時30分～8時30分

土星の観測をします。

川の生き物教室 (要申込・定員20人)

8月3日(日) 午前9時～11時30分

川の生き物の観察と飼育方法を学びます。

昆虫教室 (要申込・定員20人)

8月10日(日) 午前9時～11時30分

昆虫採集や観察の仕方を学びます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

8月24日(日) 午前9時～11時30分

夏の野鳥を観察します。

